



シーシーエス株式会社

2016年12月期第1四半期 決算説明

2016年12月8日

1. 2016年12月期第1四半期 連結決算概要
2. 2016年12月期第1四半期 事業分野別の状況
3. 2016年12月期の取組み
4. 参考資料

- 1. 2016年12月期第1四半期 連結決算概要**
2. 2016年12月期第1四半期 事業分野別の状況
3. 2016年12月期の取組み
4. 参考資料

為替の影響(前年同期比 売上高▲107百万円、営業利益▲63百万円)があったものの

第1四半期は増収増益を達成

(単位:百万円)

	16/07 1Q		16/12 1Q		前年同期比	
	金額 [A]	売上比	金額 [B]	売上比	[B]-[A]	[B]/[A]-1
売上高	1,646	-	1,805	-	+159	+9.7%
売上総利益	970	58.9%	1,002	55.5%	+31	+3.3%
販管費	804	48.9%	824	45.7%	+20	+2.5%
営業利益	165	10.1%	177	9.8%	+11	+7.2%
経常利益	156	9.5%	166	9.2%	+9	+6.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	98	6.0%	103	5.7%	+4	+4.9%

売上高・営業利益の推移

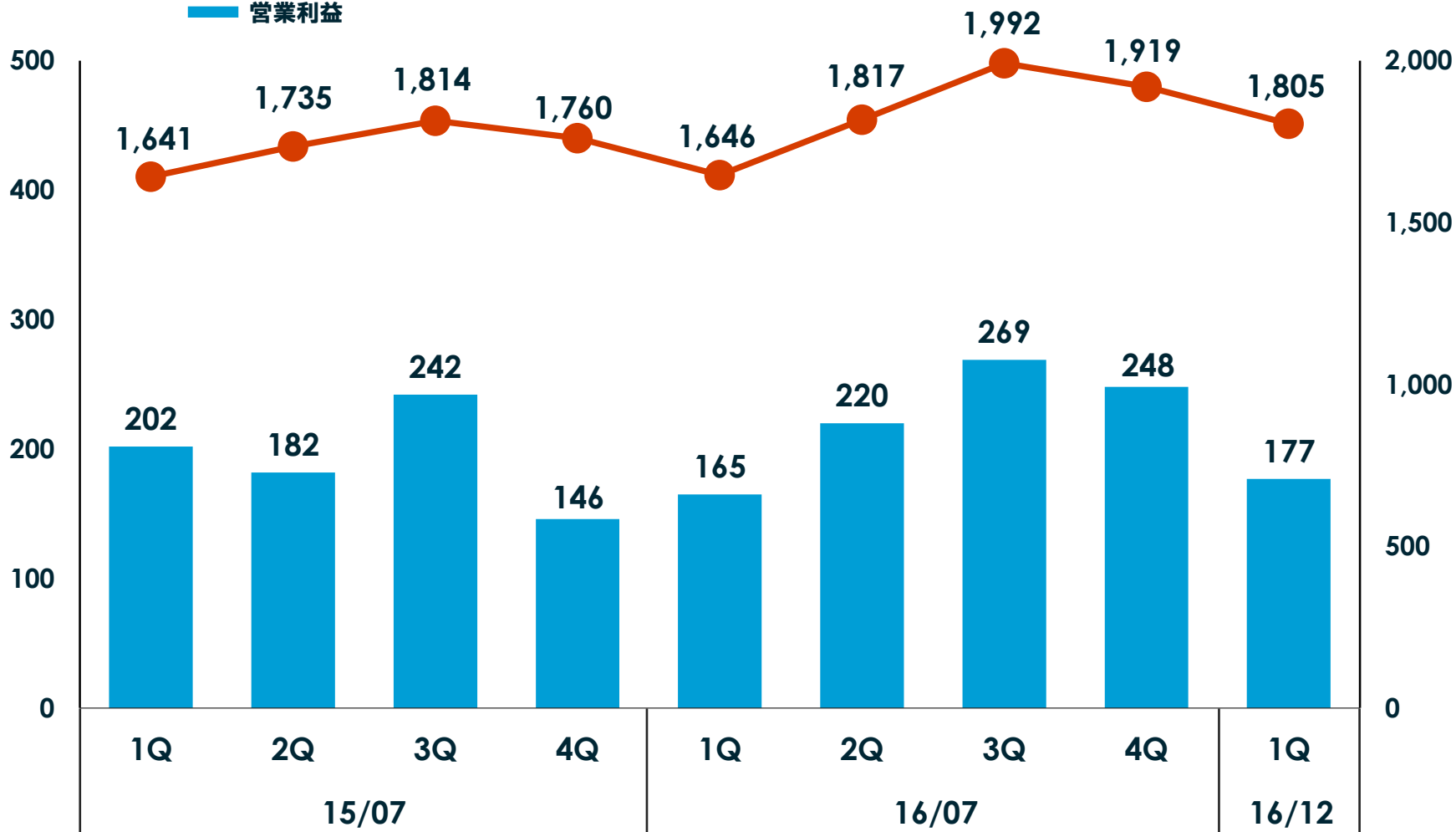
営業利益

(百万円)

● 売上高
■ 営業利益

売上高

(百万円)



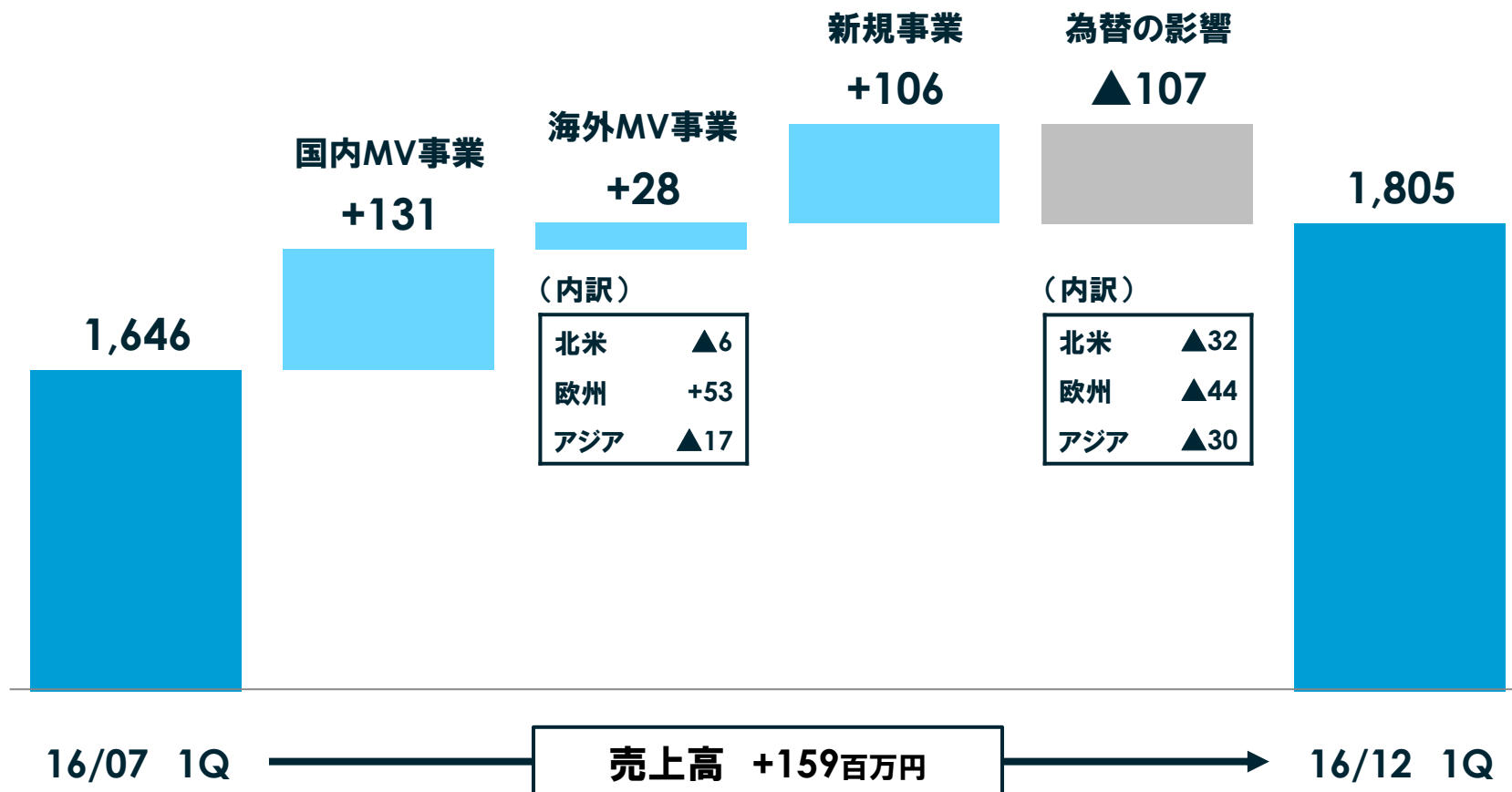
売上高の増減要因

(単位:百万円)

※ 増減要因の数値は概算

為替レート(期中平均)

通貨	16/07 1Q	16/12 1Q
米ドル	121.20円	102.35円
ユーロ	135.68円	114.09円



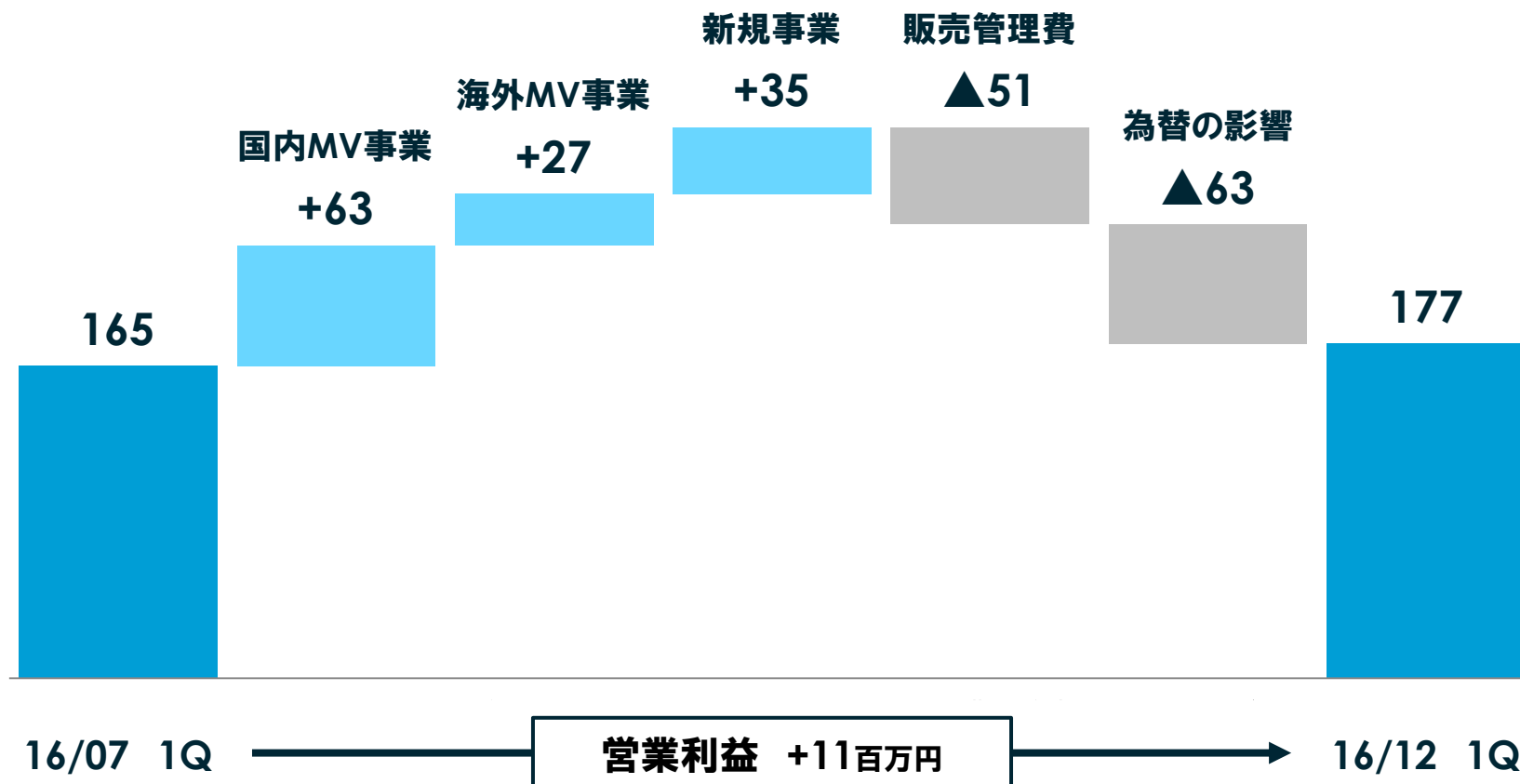
営業利益の増減要因

(単位:百万円)

※ 増減要因の数値は概算

販売管理費の主な増加要因(営業利益にマイナス影響)

- ・ 研究開発費の増加
- ・ 営業活動の活発化による販売促進費などの増加
- ・ 組織力強化のための人材採用費用の増加



連結貸借対照表

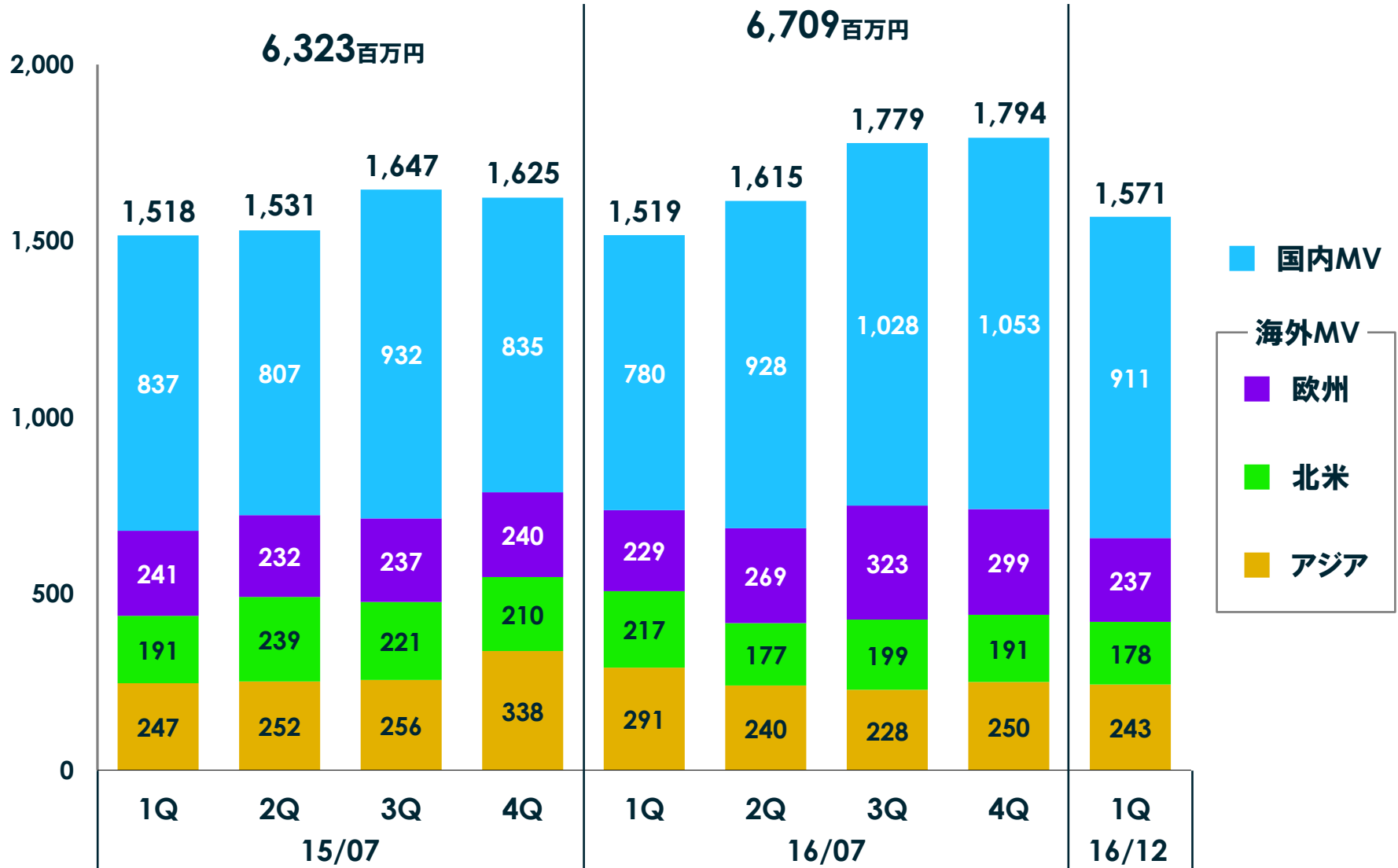
(単位:百万円)

資産	16/07 期末	16/12 1Q	負債・純資産	16/07 期末	16/12 1Q
現金及び預金	1,902	1,934	流動負債	1,780	1,687
受取手形及び売掛金	2,061	1,919	固定負債	583	537
たな卸資産	1,169	1,184			
その他	185	160			
流動資産合計	5,318	5,199	負債合計	2,363	2,225
有形固定資産	1,037	1,037	資本金	462	462
無形固定資産	133	122	資本剰余金	1,460	1,460
投資その他の資産	246	204	利益剰余金	2,415	2,399
			為替換算調整勘定	▲100	▲110
			非支配株主持分	135	126
固定資産合計	1,418	1,364	純資産合計	4,373	4,338
資産合計	6,737	6,563	負債・純資産合計	6,737	6,563

1. 2016年12月期第1四半期 連結決算概要
- 2. 2016年12月期第1四半期 事業分野別の状況**
3. 2016年12月期の取組み
4. 参考資料

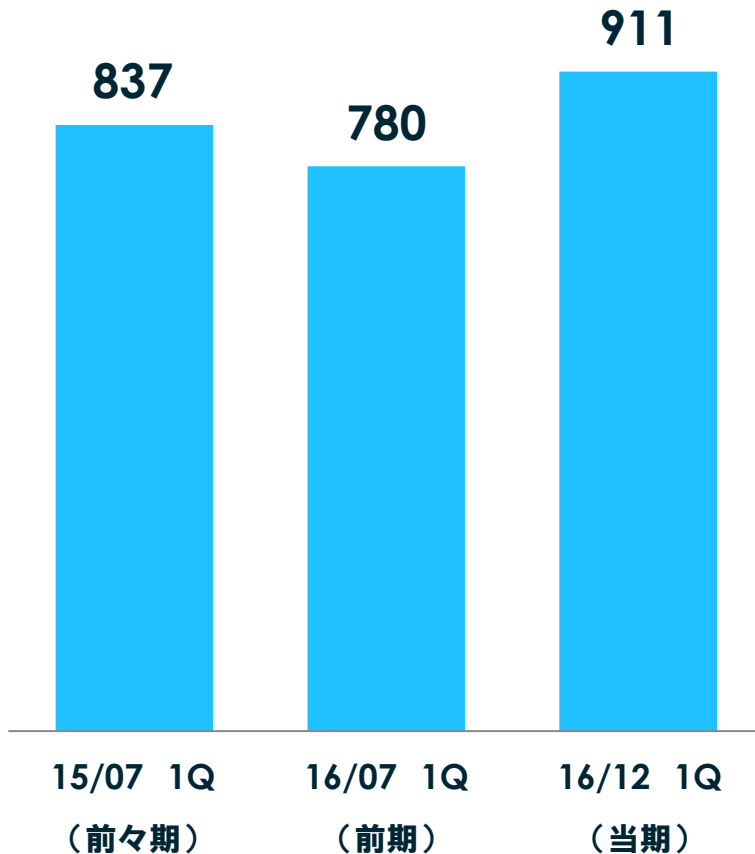
MV事業 地域別売上高の推移

(単位:百万円)



第1四半期売上高の推移

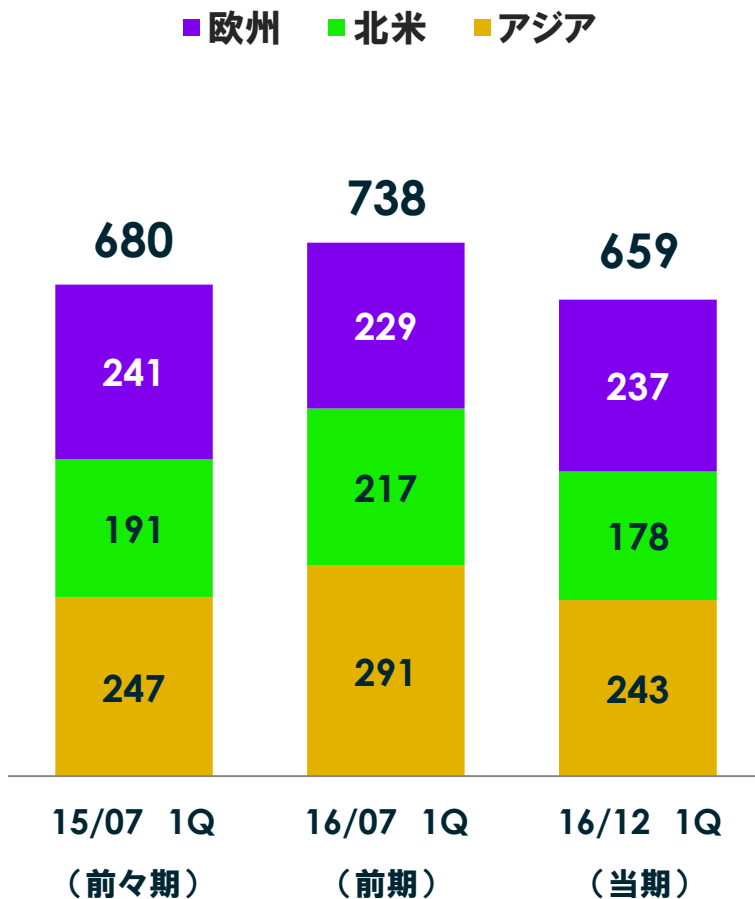
(単位:百万円)



- 売上は好調に拡大 (前年同期比 +16.8%)
- 電子・電気・半導体業界、三品業界向けの売上が好調
- テスティングルームの活用、訪問件数・案件進捗管理など、顧客密着型の営業活動を継続
- 周辺商材(レンズ・カメラなど)のセット販売、システム提案の強化による顧客の囲い込み

第1四半期売上高の推移

(単位:百万円)



- 為替の影響(▲107百万円)を除けば、売上は微増(前年同期比 +3.9%)

(欧州)

- 半導体業界が小康を保ち、大手顧客向けの売上が寄与

(北米)

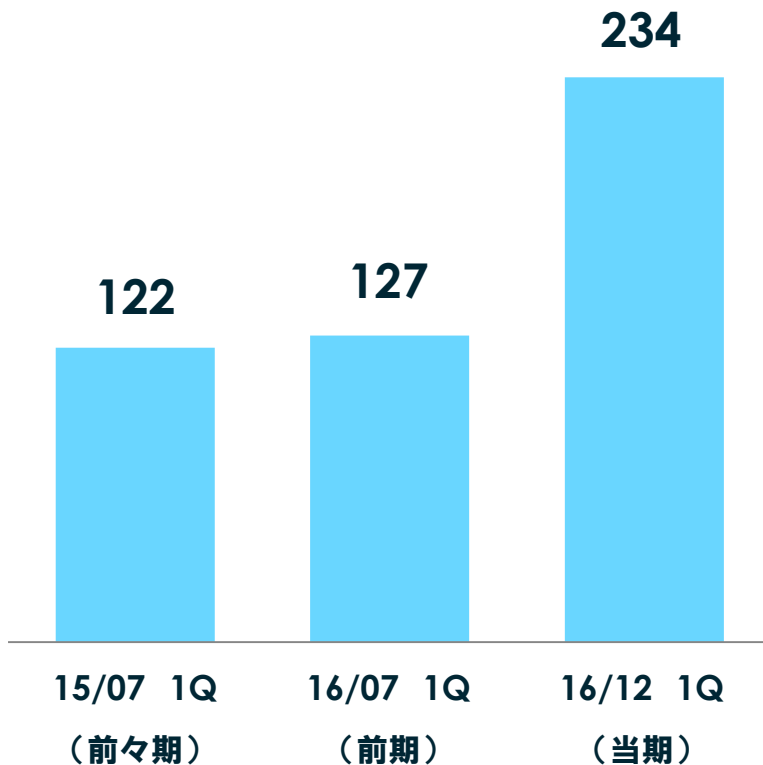
- アメリカ大統領選挙を前に製造業で設備投資の抑制があり、売上が減少

(アジア)

- シンガポール、マレーシア、タイで売上が好調
- Rseeの体制強化に遅れ

第1四半期売上高の推移

(単位:百万円)



- ・ 売上は大幅に増加 (前年同期比 +83.8%)

(アグリバイオビジネス)

- ・ 遅れていた大型案件が売上に寄与

(UVビジネス)

- ・ UV-LED市場の拡大に伴い、
売上は堅調に推移

(美術館・博物館向けビジネス)

- ・ 売上は堅調に推移

(デバイスビジネス)

- ・ 当社の強みである「自然光LED」の積極的な
商品展開を推進

1. 2016年12月期第1四半期 連結決算概要
2. 2016年12月期第1四半期 事業分野別の状況
- 3. 2016年12月期の取組み**
4. 参考資料

駐在事務所の開設

2016年9月にマレーシア駐在員事務所を開設

アジア地域の顧客サポートを強化

営業拠点は19拠点(国内8拠点、海外11拠点)

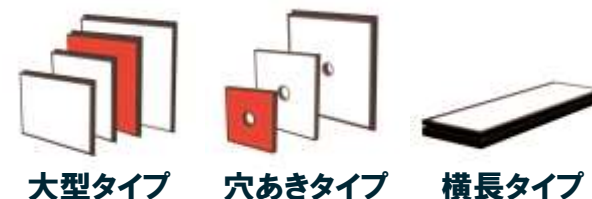


新製品の販売開始

画像処理検査用 面発光フラットLED照明「TH2シリーズ」(2016年9月発売)

多様な製品ラインナップで幅広い用途に対応

- ・ 大型タイプ 自動車部品や飲料用容器などの大型部品や製品の検査に対応
- ・ 穴あきタイプ カメラののぞき穴を追加。ロボットを活用した製造ラインに適する
- ・ 横長タイプ 食品など連なった製品の梱包後の噛み込み検査、異物検査に最適



画像処理検査ラインセンサ用LED照明「LNSP2シリーズ」(2016年8月発売)

自然空冷方式で業界最高水準となる約90万ルクスの照度を実現

- ・ 高速・高画質カメラに対応し、画像処理検査の高速化と高精度化に貢献
- ・ 空気中の塵埃に影響を与えないため、クリーンルームなどでの使用に最適



2016年12月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	16/12 1Q (16/08~16/10 実績)		16/12 通期 ※1 (16/08~16/12 予想)		16/07 2Q ※2 (15/08~16/01 実績)	
	金額 [B]	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	1,805	-	3,000	-	3,464	-
売上総利益	1,002	55.5%	1,700	56.7%	2,022	58.4%
販管費	824	45.7%	1,530	51.0%	1,636	47.2%
営業利益	177	9.8%	170	5.7%	386	11.1%
経常利益	166	9.2%	160	5.3%	372	10.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	103	5.7%	100	3.3%	242	7.0%

※1 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヵ月の変則決算となります。

※2 参考値として2015年8月～2016年1月(6ヵ月)の実績を記載しております。

(単位:百万円)

	16/12 1Q実績	16/12 ※1 通期計画	16/07 ※2 2Q累計実績	14/07 通期実績	15/07 通期実績	16/07 通期実績
設備投資	25	189	83	266	153	183
有形固定資産	25	178	68	160	108	145
無形固定資産	-	11	15	106	44	36
減価償却	37	85	72	146	164	158

(単位:百万円)

	16/12 1Q実績	16/12 ※1 通期計画	16/07 ※2 2Q累計実績	14/07 通期実績	15/07 通期実績	16/07 通期実績
研究開発費	140	307	260	464	486	545
対売上高比率	7.4%	10.2%	7.5%	8.4%	7.0%	7.4%

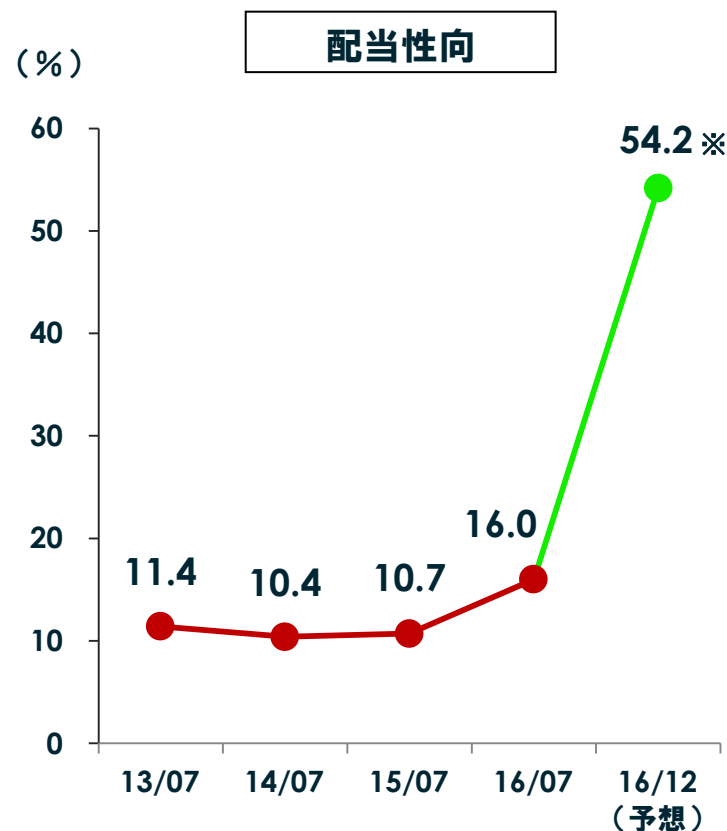
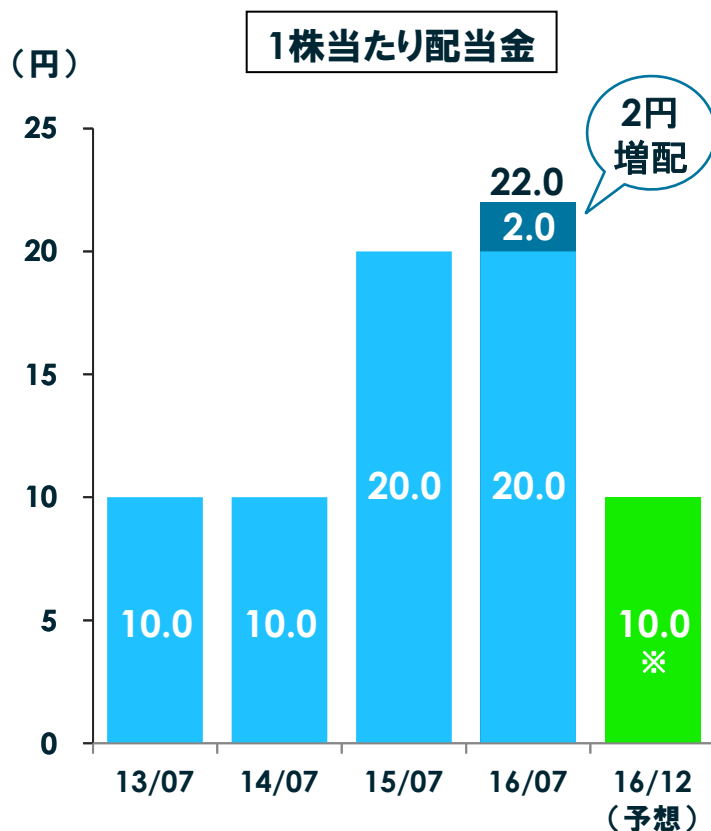
※1 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヵ月の変則決算となります。

※2 参考値として2015年8月～2016年1月(6ヵ月)の実績を記載しております。

配当方針

2015年9月に業績連動型配当政策を導入
連結配当性向20%～30%を目標とする

※ 2016年12月期が5ヵ月の変則決算となるため、配当金は前期実績の期間按分から算出しております。



- 2014年2月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。
1株当たり配当金は、当該株式分割に伴う影響を加味し、過去に遡って修正した数値を記載しております。
- 2016年5月2日にA種優先株式が普通株式に転換された結果、普通株式が1,279,829株増加しております。

1. 2016年12月期第1四半期 連結決算概要
2. 2016年12月期第1四半期 事業分野別の状況
3. 2016年12月期の取組み
4. **参考資料**

商号	シーシーエス株式会社
本社所在地	京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
代表者	代表取締役社長 大西 浩之
設立	1993年10月
資本金	462百万円
従業員数	連結:287名(86名) 単体:206名(37名) 注:外書き()内は臨時従業員数
発行済株式総数※	普通株式 5,417,829株 注:2016年5月2日にA種優先株式が普通株式への転換された結果、普通株式が1,279,829株増加しています。
株主数※	普通株式 2,260名
主な連結子会社	CCS America, Inc. / CCS Asia PTE.LTD. / CCS Europe N.V. 東莞銳視光電科技有限公司(Rsee)
拠点	国内 10ヵ所 京都本社、生産センター、光技術研究所、東京、名古屋、仙台、本厚木、金沢、守山、淀屋橋 海外 11ヵ所 ボストン、エルパソ、サンノゼ、ベルギー、シンガポール、タイ、マレーシア、上海、深圳、東莞、台湾（主な連結子会社含む）

※ 2016年7月31日現在

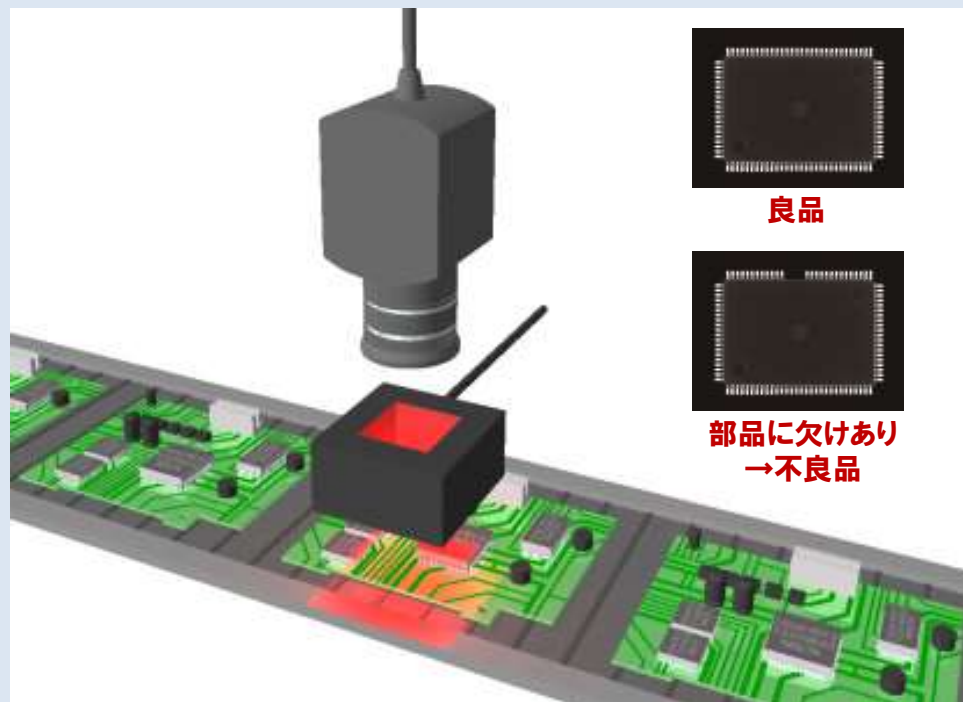
1993	10月	シーシーエス株式会社設立
1999	10月	CCS America, Inc.を設立
2000	5月	東京営業所を開設
2003	9月	上海駐在員事務所を開設
2004	9月	RDV(S)PTE LTD社(現 CCS Asia PTE.LTD)を子会社化
	11月	CCS Europe NVを設立
	12月	ジャスダック証券取引所に上場
2007	7月	生産センターを開設
	10月	仙台 テスティングルームを開設
	11月	山口大学と「自然光LED」照明を共同開発
2008	1月	光技術研究所を開設
	3月	深圳駐在事務所を開設
	8月	名古屋営業所を開設
2010	12月	CCS Asia PTE.LTD. バンコク駐在員事務所を開設
2011	5月	CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTD.を設立
2013	10月	台湾駐在員事務所を開設
2014	1月	東莞鋭視光電科技有限公司を設立
		CCS America, Inc. エル・パソ テキサス テスティングルームを開設
	8月	金沢 テスティングルームを開設 守山 テスティングルームを開設
2015	10月	CCS America, Inc. サンノゼ テスティングルームを開設
		本厚木 テスティングルームを開設
		淀屋橋 テスティングルームを開設
2016	5月	オブテックス株式会社による公開買付けにより同社の子会社となる
	8月	決算期を7月から12月に変更
	9月	CCS Asia PTE.LTD. マレーシア駐在員事務所を開設

(参考) LED開発の歩み

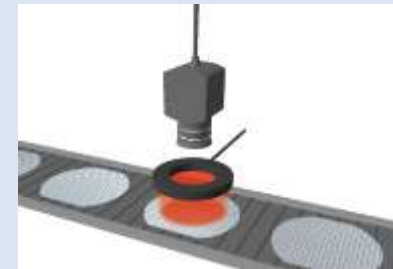
1962年	赤色と黄緑色を開発
1970年代	赤色と黄緑色が実用化
1993年	青色が製品化
1995年	純緑色を開発
	光の三原色がそろう
1996年	白色を開発
現在	発光効率の向上
	高演色性白色の開発

CCSは、画像処理用LED照明市場で国内・海外ともに
トップシェアを占める リーディングカンパニーです。

画像処理とは？



・プリント基板の実装部品欠陥検査



・ウェハーのチリ/ホコリ撮像



・ガラス瓶の刻印撮像

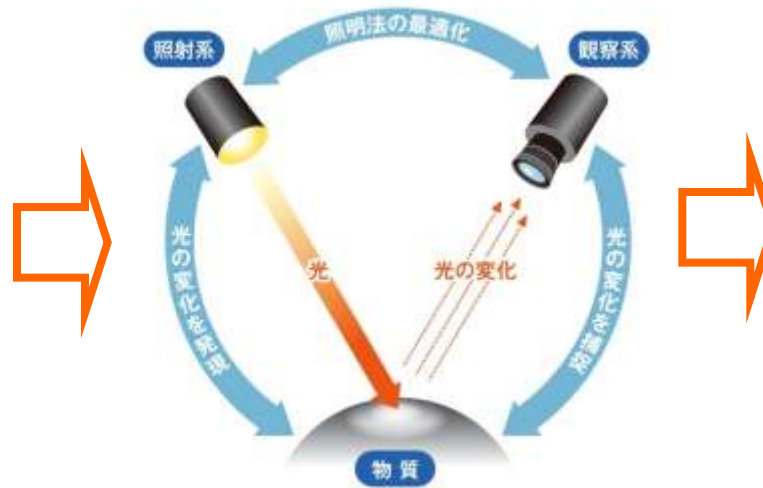


・プラグの電極ギャップ撮像

<照明法の最適化>



流通している硬貨。
実際に検査しているものではありません。



伝搬方向を最適化
見えなかった、
500円の文字を抽出。

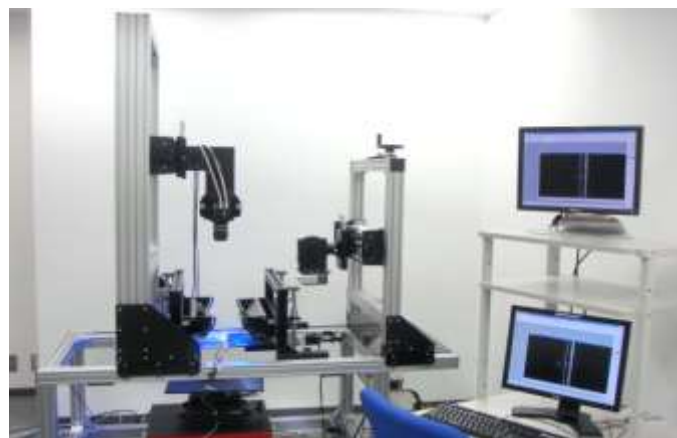
同じ対象物でも見え方が全く異なります。
この光の選び方が技術・ノウハウである、
「ライティングソリューション」です。

信頼の実績とサポート体制

- 50,000件以上のワーク撮像実績
- 約10,000機種のカスタム照明の設計・開発・製作
- 数百種類、一万台以上に及ぶ無料貸出機を準備
- エリア実験室、ラインセンサ用実験室を完備



エリア実験室



ラインセンサ用実験室

新規事業

MV事業

マシンビジョン用照明

(エリア照明・ラインセンサ用照明)



■ UVインクの硬化



自然光LED

UVビジネス

美術館・博物館
ビジネス



メディカルビジネス



アグリバイオ
ビジネス

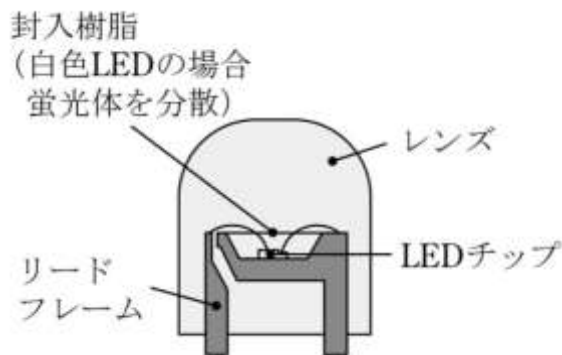


デバイスビジネス

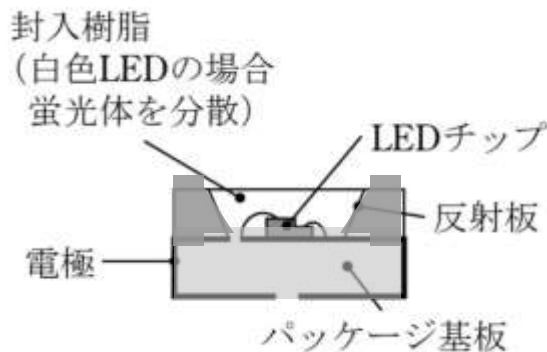


LEDの種類と構造

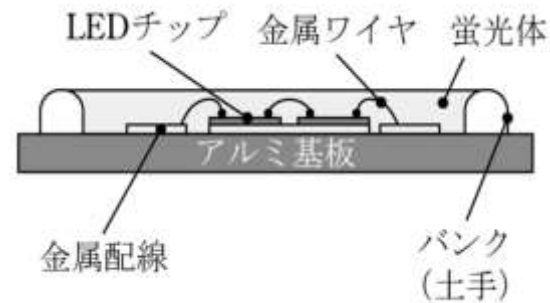
LEDは、LEDチップ、蛍光体、パッケージや封止樹脂などさまざまな部材を組み合わせ、複雑な光学現象、化学現象、構造力学現象をハンドリングしてつくりだされています。



砲弾型



表面実装(SMD)



チップオンボード(COB)

* 参照: 公益社団法人日本電気技術者協会 電気技術開設講座

シーシーエスは、独自の技術で設計開発を行いオリジナルLEDの開発に取り組んでいます。

【SMDパッケージング技術】

高効率化

【蛍光体】

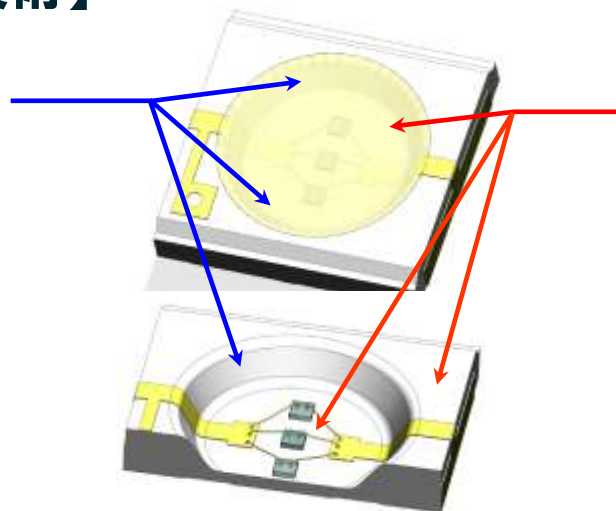
材料及び封止方法の最適化

【封止樹脂】

材料特性、表面形状の最適化

【リフレクタ形状最適化】

壁面高さ、角度、高反射率



長寿命化

【封止樹脂】

耐熱・耐光性向上

【ボンディング材料】

耐熱・耐光性向上、高放熱性

【パッケージ材料】

高反射率、高放熱性

【COB実装技術】

高効率化

【蛍光体】

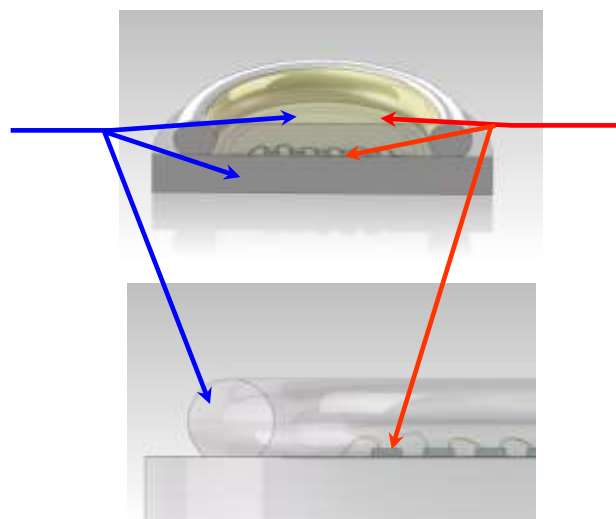
材料及び封止方法の最適化

【ダム材】

高反射率、成型化

【基板材料】

高反射率、高放熱性



長寿命化

【封止樹脂】

耐熱・耐光性向上

【実装パターン】

狭ピッチ、高反射率

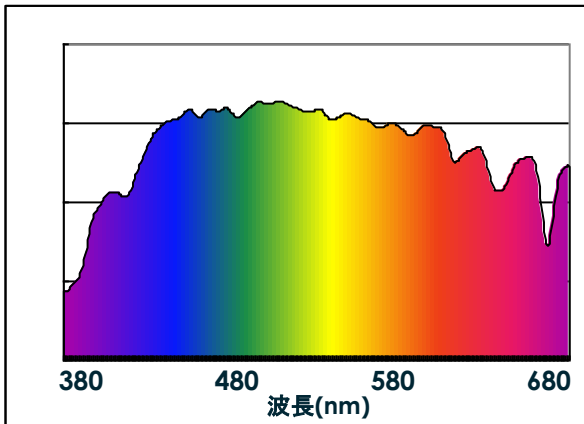
【ボンディング材料】

耐熱、耐光性向上、高放熱性

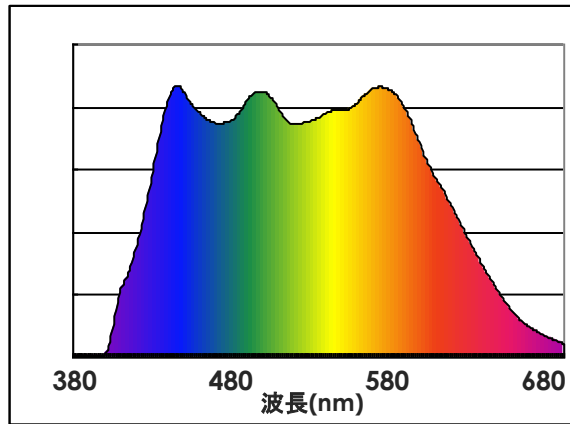


独自に開発した太陽光に近い光を再現する「自然光LED」
色の再現性を標準化・数値化した平均演色評価数*において、
業界最高クラス“Ra98”(相関色温度:5000 K)を達成

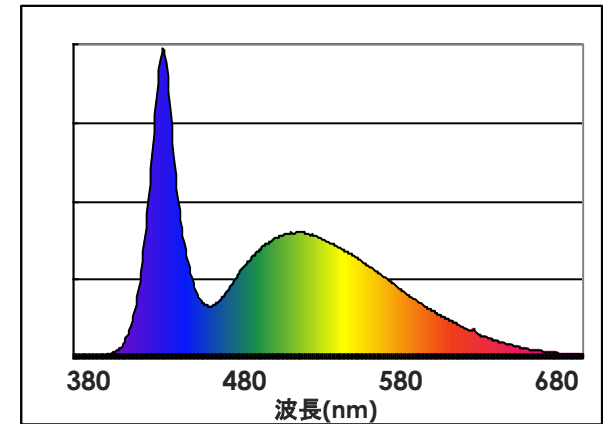
太陽光の分光分布 5200 K(AM:10時)



“自然光LED5000 K”の分光分布



一般的な白色LEDの分光分布



太陽光に近い分光分布で物体の色を忠実に再現

青色LEDの青が極端に強い



肌の色も自然に美しく魅せることができます

CIE2015 マンチェスター大会

2015年7月 イギリス
The University of Manchester

▶▶ 高演色白色LED照明下での絵画やカラーチャートの見え方について

近年、美術館などの展示空間において、LED照明が多く導入されるようになった。紫色励起の白色LEDは演色性が非常に高く(単位:Ra)、様々な色の再現性に優れている。しかし、色の見えが作品の印象に大きく影響する美術館でLED照明をより有効に活用していくためには、さまざまな特徴を持った絵画に関するデータを蓄積していく必要があり、2014年7月には、日本画の見えに与える影響を実験によって検証した。しかし、主観的な見えや好ましさは民族的・文化的背景の影響を受けやすいことから、様々なデータを集める必要がある。本研究では、LED照明が絵画やカラーチャートの見えに与える影響を、フランス人および日本人で実験し、絵画鑑賞に適した照明環境の検討を行うことを目的とした。



図1. 実験空間



図2. 実験を行ったカラーチャート、絵画

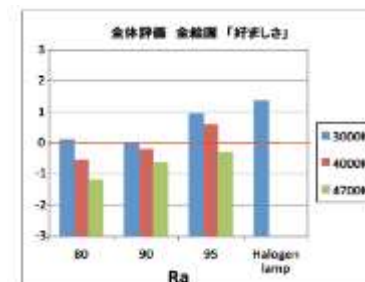


図3. 評価結果

今回の実験では、主観評価実験を行うことで絵画の見え方に影響する評価要素を明らかにした。結果として、紫色励起の白色LEDはフランス人でも日本人でも好ましい見えを得られたが、フランス人は色温度の高い白色LEDを好み、日本人は低めの色温度を好むことがわかった。また、ハロゲンランプとの置換えも充分可能な好ましさも得られることがわかった。今後は、色温度の影響について研究を続けていく方針である。

「自然光LED」搭載照明の商品化に注力



顕微鏡

美術館

生鮮食品などのショーケース用照明

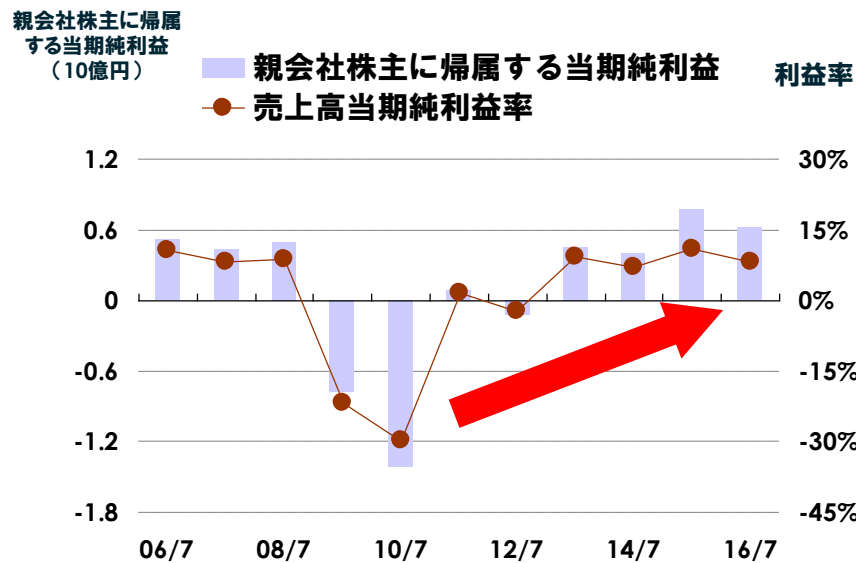
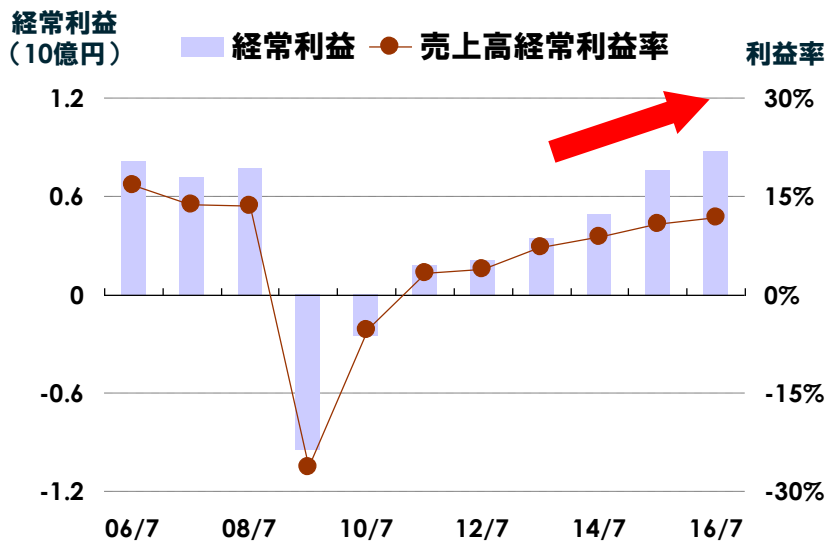
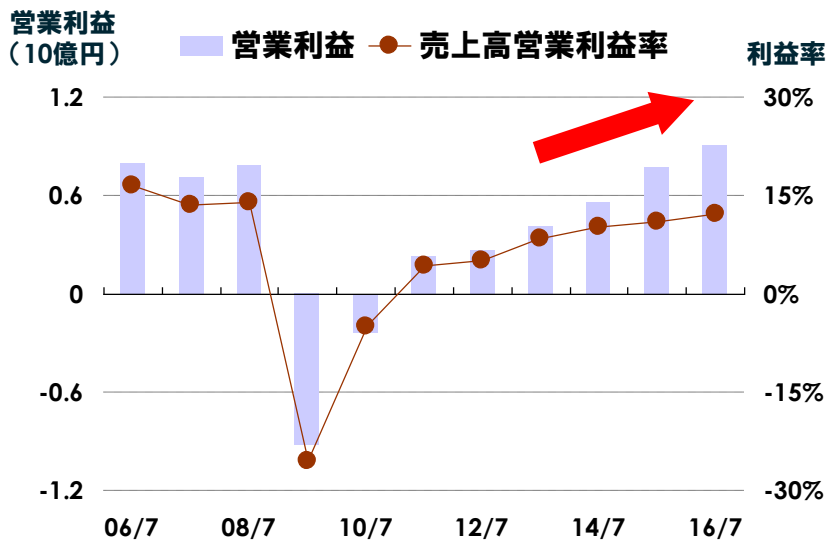
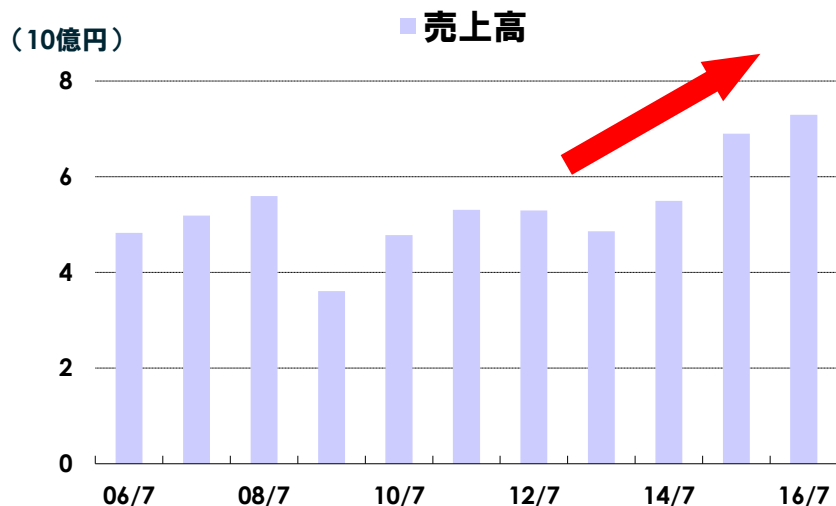


食品

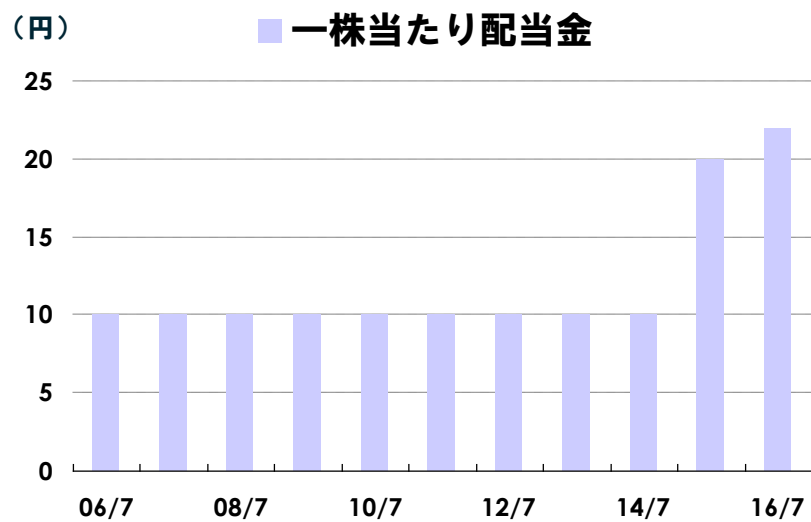
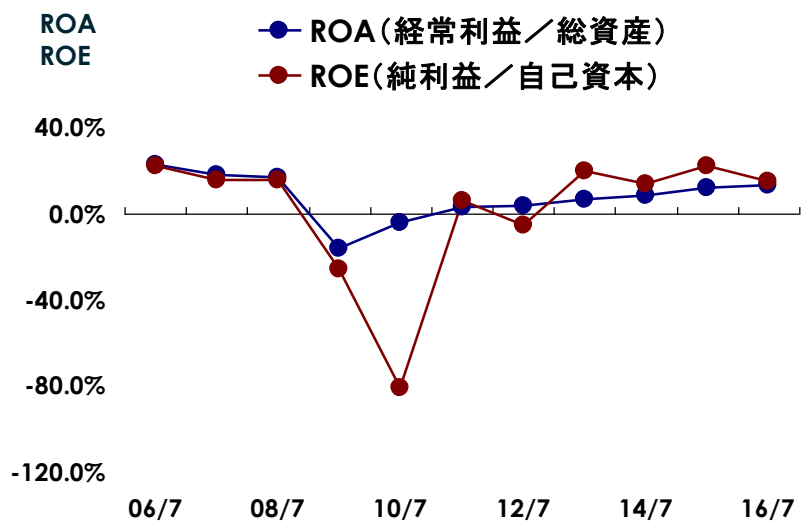
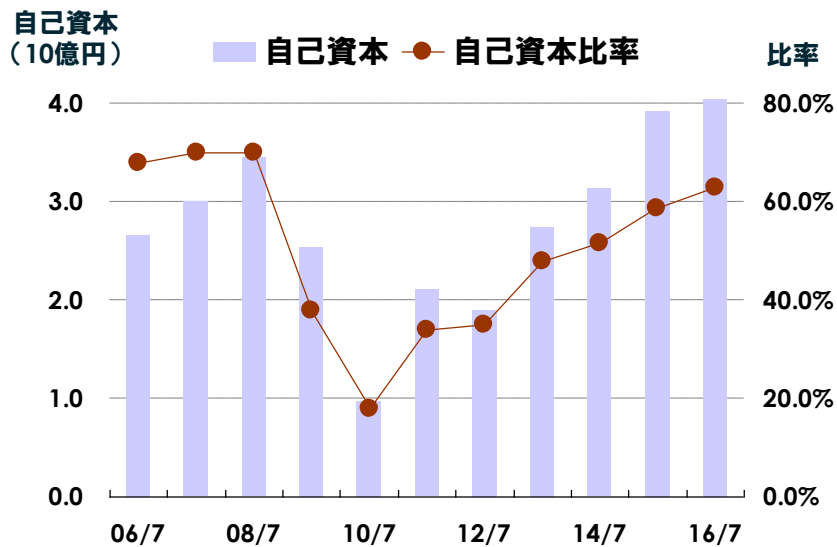
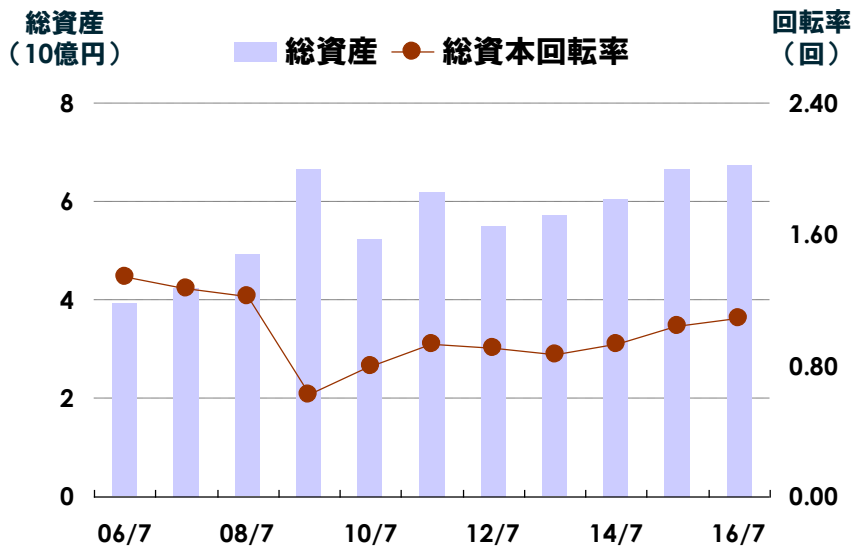


ホテル・会場

業績・財務指標の推移 (1)



業績・財務指標の推移 (2)



本資料取扱い上のご注意

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に記載されている計画、見通し、戦略につきましては、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々な不確定要素が内在しています。実際の業績は経営環境の変化等により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問合せ

シーシーエス株式会社 IR担当

TEL : 075-415-8291 FAX : 075-415-7724

E-mail : ir@ccs-inc.co.jp